

# 二級河川 古座川

保存版

# 浸水実績図

〔平成23年 台風12号〕

災害発生日：平成23年9月3日～4日  
 浸水区域：古座川沿い  
 真砂地区から高池下部地区まで  
 小川沿い  
 田川地区から直見地区まで



## 浸水実績図に整理した内容

- 平成23年台風12号による浸水区域（流域の被災状況写真、浸水深、床上・床下浸水の箇所）
- 洪水時避難場所（指定避難施設）
- 一時的な緊急避難場所
- 気象状況
- 水位情報と洪水予報の種類
- 町からの避難情報のながれ
- 風水害履歴 など

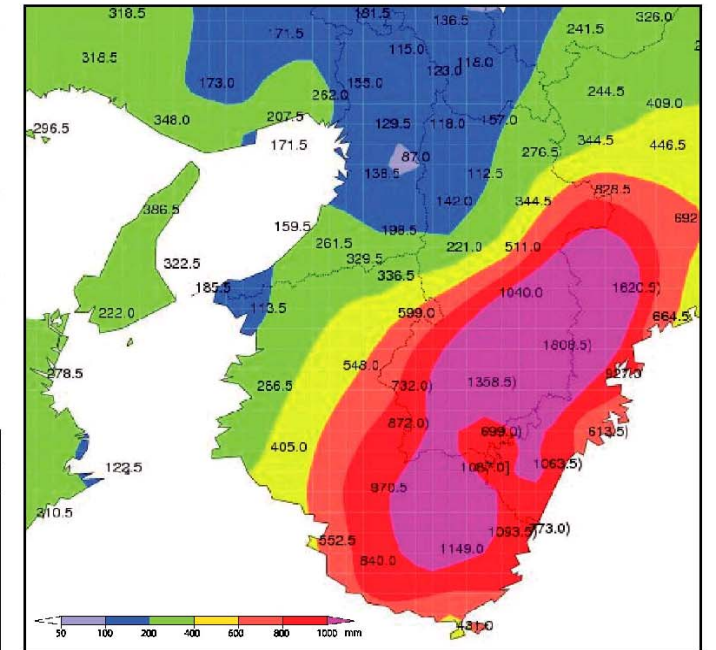


## ●気象状況

台風12号は、9月2日に勢力を保ったまま四国地方に接近、3日10時頃に高知県東部に上陸した。その後も、台風はゆっくりと北上を続け、四国地方、中国地方を縦断し、4日未明に日本海に抜けた。

台風が大型で動きが遅かったため、長時間にわたり台風周辺の湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となった。

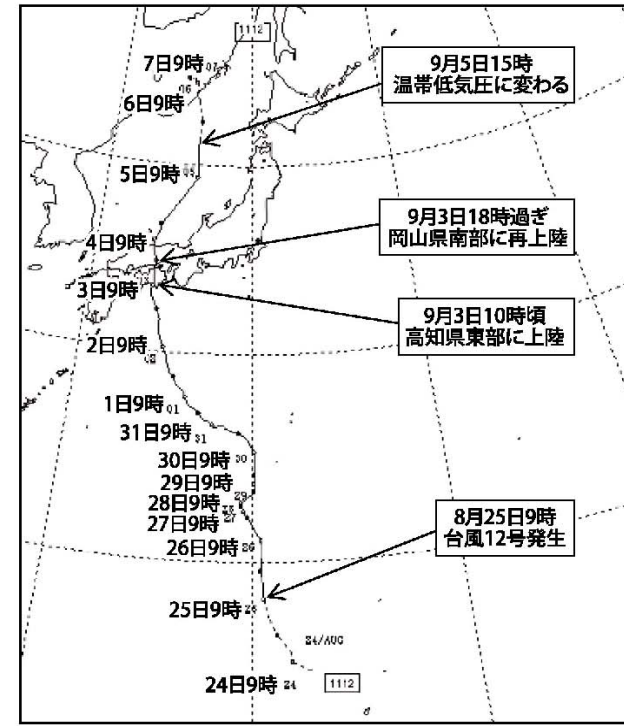
特に紀伊半島の広い範囲で総降水量が1,000ミリを超え、町内にある西川地域気象観測所では9月2日から4日の72時間雨量が1,112ミリ（松根雨量観測所では1,336ミリ）に達した。



アメダス期間降水量（平成23年8月30日18時～9月4日24時） 出典：気象庁より

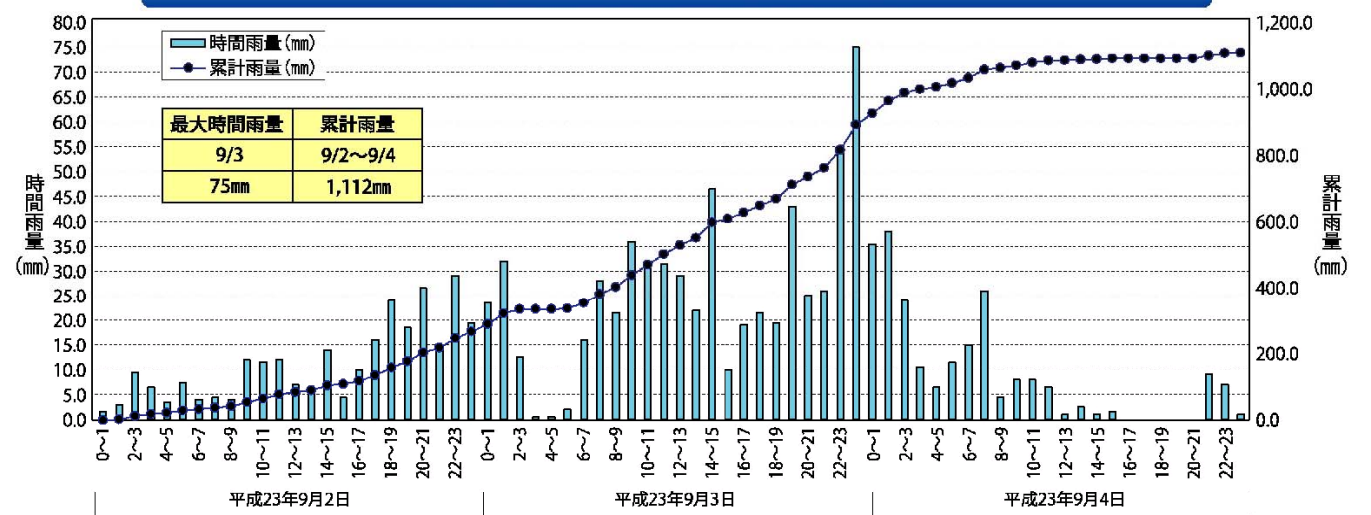
### 〔時系列一覧表〕

日付	時間	気象予警報など	町の体制と避難情報
9月1日	16:55	大雨・洪水注意報発表	
9月2日	4:15	大雨・洪水警報発表	
	14:00		支所及び出先機関に職員を配備
	21:50	土砂災害警戒情報発表	
9月3日	10:45		月野瀬・高瀬・明神地区に避難準備情報
	11:30		月野瀬・高瀬・明神地区に避難勧告
	15:05		相瀬地区に避難勧告
	15:15		一雨地区に避難勧告
	16:40		町内全域に避難勧告
9月4日	0:05		明神・三尾川・高池地区に避難指示
	1:00～4:00	古座川の水位ピーク	
	22:40	洪水警報から洪水注意報へ	
9月5日	5:10	土砂災害警戒情報解除	
	5:55	洪水注意報解除	
	8:30		町内全域の避難勧告、避難指示解除
	8:30		災害対策本部を設置
	16:03	大雨警報から大雨注意報へ	
9月6日	5:45	大雨注意報解除	



平成23年台風12号の経路図 出典：気象庁より

## 時間雨量グラフ（西川地域気象観測所）

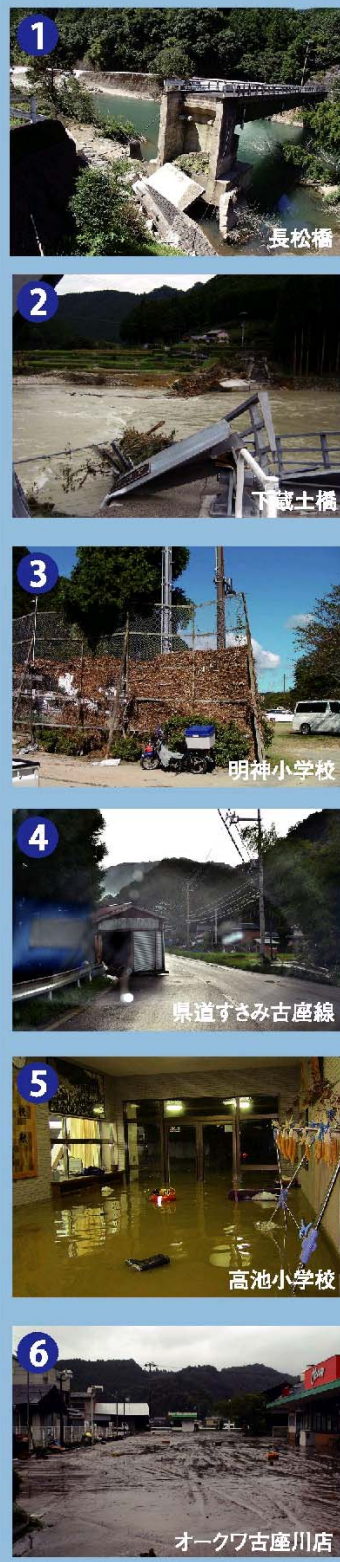


出典：和歌山地方気象台「地域気象観測所毎時降水量（mm）日報」より作成



# 流域の被災状況

大型の台風12号は非常にゆっくりと北上し、各地に記録的な豪雨をもたらしました。全国の死者は82人、行方不明者は16人(平成24年9月3日現在)、古座川町においても床上浸水569戸、床下浸水130戸の住家被害が発生しました。9月4日3時時点の避難者は128世帯193人となり、それ以外の人は各自安全な場所へ避難しました。屋根裏部屋や押し入れで水が引くのを待ったという人もみられ、地区住民や消防団員、町職員による懸命な救助活動が行われました。



※背景図は、古座川町管内図5万分の1を使用したものです。  
 ※浸水区域は、平成23年台風12号(9月2日~4日)によるものであり、聞き取り調査及び洪水痕跡によるものです。

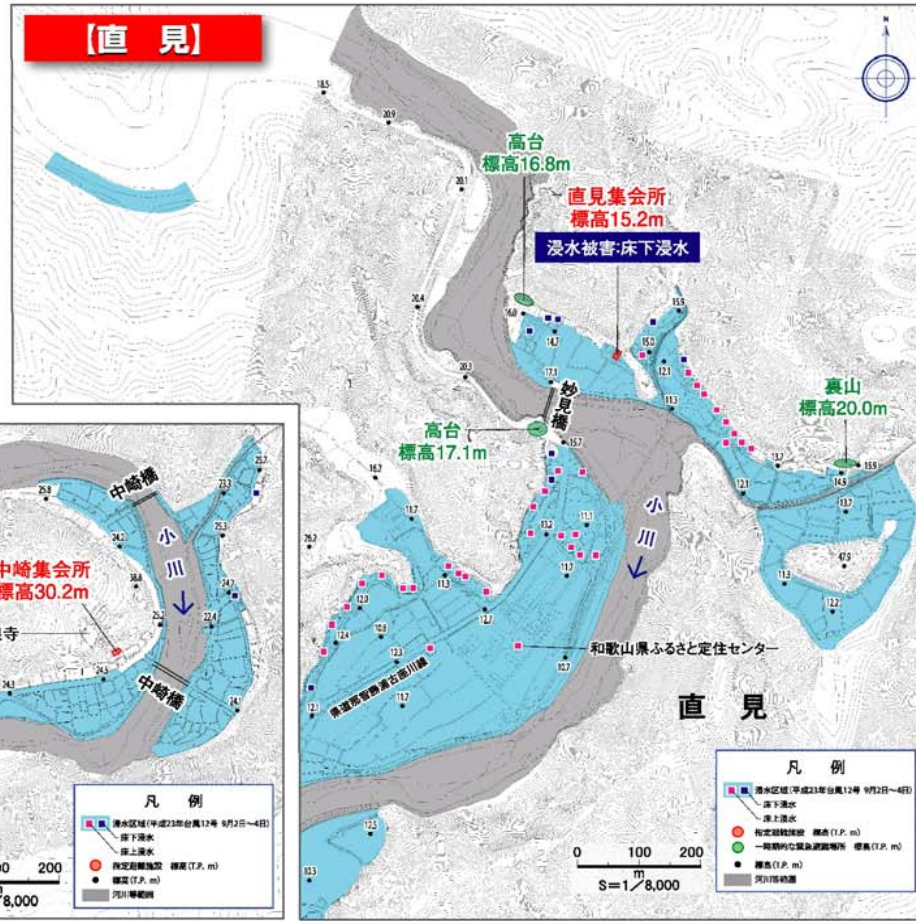












## 詳細浸水実績図

### 凡例

- 浸水区域(平成23年台風12号 9月2日~4日)
- 床下浸水
- 床上浸水
- 早い段階で道路が冠水するポイント
- 指定避難施設 標高(T.P. m)
- 一時的な緊急避難場所 標高(T.P. m)
- 標高(T.P. m)
- 町境界
- 河川等範囲

### 避難施設

■指定避難施設  
指定避難施設とは、浸水、倒壊など現に被害を受けた方又は現に被害を受けるおそれのある方を一時的に収容し保護する施設のことをいいます。

■指定避難施設(避難ビル)  
洪水はん濫等により浸水被害が発生し、避難に時間的余裕がない場合や、逃げ遅れた場合に、一時的に避難する施設のことをいいます。

### 一時的な緊急避難場所

洪水はん濫等により浸水被害が発生し、生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所のことをいいます。

※浸水区域は、平成23年台風12号(9月2日~4日)によるものであり、聞き取り調査及び洪水痕跡によるものです。

さらに詳細な、「地区別詳細浸水実績図」は、古座川町ホームページで確認することができます。

